



70年の歩み

1949 昭和24 上信越高原国立公園 指定

1954 昭和29 四万温泉 国民保養温泉地 指定

1955 昭和30 志賀高原地区に管理員配置

1956 昭和31 万座温泉スキー場 開業

1956 昭和31 妙高・戸隠地域 追加指定

1957 昭和32 万座地区に管理員配置

1960 昭和35 国設谷川岳天神平スキー場 開業

1961 昭和36 苗場スキー場 開業

1967 昭和42 浅間火山博物館 開館

1968 昭和43 鹿沢温泉 国民保養温泉地 指定

1971 昭和46 菅平高原自然館 開館

1974 昭和49 国設軽井沢野鳥の森 指定

1976 昭和51 草津ビジターセンター 開館

1980 昭和55 志賀高原ユネスコエコパーク 登録

1986 昭和61 自然公園財団草津支部設立

1987 昭和62 草津白根パークサービスセンター 開館

1997 平成9 志賀高原自然保護センター 開館

1997 平成9 天狗山ネイチャーセンター 開館

1998 平成10 湯の丸高原ビジターセンター 開館

1998 平成10 長野オリンピック・パラリンピック 開催

2001 平成13 中部北陸自然歩道 全線整備完成

2003 平成15 鹿沢インフォメーションセンター 開館

2005 平成17 財団法人自然公園財団 公園管理団体指定

2007 平成19 公園計画再検討(草津・万座・野反・四万、菅平及び浅間地域)

2008 平成20 高峰高原ビジターセンター 開館

2008 平成20 NPO法人浅間山麓国際自然学校 公園管理団体指定

2010 平成22 公園計画再検討(須坂・高山地域)

2011 平成23 湯の丸高原風景地保護協定認可

2014 平成26 苗場山麓日本ジオパーク 登録

2014 平成26 志賀高原ユネスコエコパーク 登録区域の拡張

2015 平成27 芳ヶ平湿地群ラムサール条約湿地 登録

2015 平成27 公園計画再検討(谷川地域)

2015 平成27 妙高・戸隠連山国立公園 誕生

2015 平成27 谷川自然保護官事務所を設置

2016 平成28 浅間山北麓日本ジオパーク 登録

2017 平成29 みなかみユネスコエコパーク 登録

2018 平成30 万座しぜん情報館 開館

2018 平成30 みなかみ町国民保養温泉地 指定

2018 平成30 ぐんま県境稜線トレイル 開通

2018 平成30 スノーカントリートレイル 開通

2019 平成31 公園計画再検討(志賀高原地域)

2019 令和元 上信越高原国立公園指定70周年

温泉地としての魅力

火山が集中する本公園は温泉が豊富で、四万温泉、草津温泉、万座温泉、鹿沢温泉、山田温泉など古くからの温泉地が点在し、多くの文人墨客などに親しまれてきた歴史がある。本公園の中には、一部公園内のもも含めると、約30箇所の温泉地がある。こうした温泉地の多くは、山岳信仰の修験者、山林修行者が発見をし、湯垢離や法要の際に利用してきたと考えられている。

スキー場としての魅力

本公園は、太平洋側気候と日本海側気候の両方の影響を受けるため稜線部は気候も複雑で、冬季の積雪も多く、スキー利用に適しているため、古くからスキー場としても発展してきた。1949年に本公園が指定されるのと前後して、各地にスキー場が整備されている。

登山やハイキング地としての魅力

本公園は昔から山岳信仰の場ともなっており、谷川岳、苗場山、四阿山などでは登山・参拝が行われていた。北部に位置する谷川連峰は、谷川岳をはじめ、茂倉岳、万太郎山、平標山など、2,000m級の非火山性の山々で構成されており、ヨーロッパのアルプス山脈を彷彿とさせる非対称山体の美しい山岳景観を呈している。谷川岳一ノ倉は日本三大岩壁の一つに数えられ、ロッククライミングのメッカともなっている。近年では、中高年登山者や若齢女性による登山利用が多く、鉄道などを利用すると、首都圏から比較的すぐに谷川連峰の景色を楽しむことが出来るようになってきている。こうした地域の魅力を繋げるため、上信越自然歩道や、ぐんま県境稜線トレイル、スノーカントリートレイルなど、多くの山歩きを楽しめるルートが設定されている。

自然公園財団草津支部設立

天狗山ゲレンデ 昭和30～35年頃 提供・草津観光公社

露天風呂 昭和初期 提供・四万温泉観光協会

谷川岳

■…主な利用施設 ■…公園管理 ■…エコパーク登録など